

4月18日に、本校3年生191名（受験者171名）を対象に実施された「全国学力学習状況調査」についての結果分析を御報告します。本調査は国語・数学・英語の3教科のテストと、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されております。

【総合結果】 国語、数学、英語とも、おおむね全国平均並みの結果となりました。

【国語】

「知識・技能」では、「情報の扱い方に関する事項」と「我が国の言語文化に関する事項」で正答率は高くなっていましたが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で低くなっていました。この事項の問題は漢字の正しい書き取りや言葉の正しい意味を選択するものであり、日々の漢字の学習や語句の意味を覚えられるように授業内でも確認していきたいと考えています。

「思考・判断・表現」では、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の正答率は高かったですが、「読むこと」の正答率が低くなっていました。文章の内容を正確に理解し、筆者が何を述べているのか、筆者の主張に対して自分はどのように考えるのか、が正しく答えられていませんでした。文章を読み取るときに、書かれている言葉を正しく読み取り、考えたことを自分の言葉で説明できるように、改めて意識して取り組んでいきたいと思います。

授業時間の中で、苦手とする部分にはなるべく時間をかけて取り組み、得意な部分はさらに伸ばしていくことができるように心がけていきます。

【数学】

「関数」は、苦手としている生徒が多い中、すべての問題で高い正答率となりました。さらに、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する「思考・判断・表現」の観点における「記述式」の問題でも学習の成果が見られ、「関数」については深い知識や技能が定着しており、それを利用する力も付いてきているといえます。

一方、「数と式」と「図形」では課題が見られました。基本的な計算力は付いているのですが、「思考・判断・表現」における「記述式」の問題での正答率が低いことが分かりました。例えば、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する問題です。基本的な計算力が付いているにもかかわらず説明の記述ができていないことから、深い理解ができていない、または証明や記述に対して苦手意識があると考えられます。定期テストでも、このような問題の記述を避ける傾向が見られ、今後知識や技能を活用する問題に取り組む機会を増やし、証明や記述問題に慣れていくようにしたいと考えています。苦手だからこそ、式や証明の一つひとつの意味や目的を理解していくことを意識して問題を解いていきましょう。

【英語】

「話すこと」では学習の成果が見られました。特に「日常的な話題に関して聞いたことについて考えとその理由を述べあうことができる」という問題がよくできていました。これからもALTの先生と積極的に対話したり、まとまりを意識して話すことを意識していきましょう。

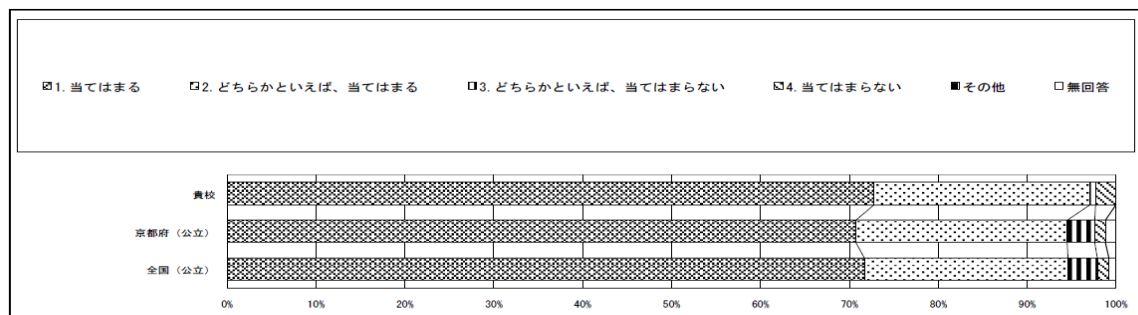
「聞くこと」でも学習成果がよく出ていましたが、「日常的な話題について自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取ることができるか」という問題の正答率は少し低かったです。ある程度まとまった英語を聞いてその内容を捉えるトレーニングが必要だと思われます。

「書くこと」では「社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く」「未来表現の肯定文、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書く」「『相手の行動を促す』という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書く」などの様々な問いに対して、何とか伝えようとする粘り強さや意欲がみられました。日頃から、「学習したことを使ってまとまりを意識して英文を書く」ということを繰り返すことが大切です。

「読むこと」では、書かれている内容そのものを理解する問題に比べて、概要や要点を捉える問題の正答率が低かったです。これから受験対策で多くの英文に触れていきます。おおまかな内容や要点を理解するということも意識して授業を展開していきたいと思っています。

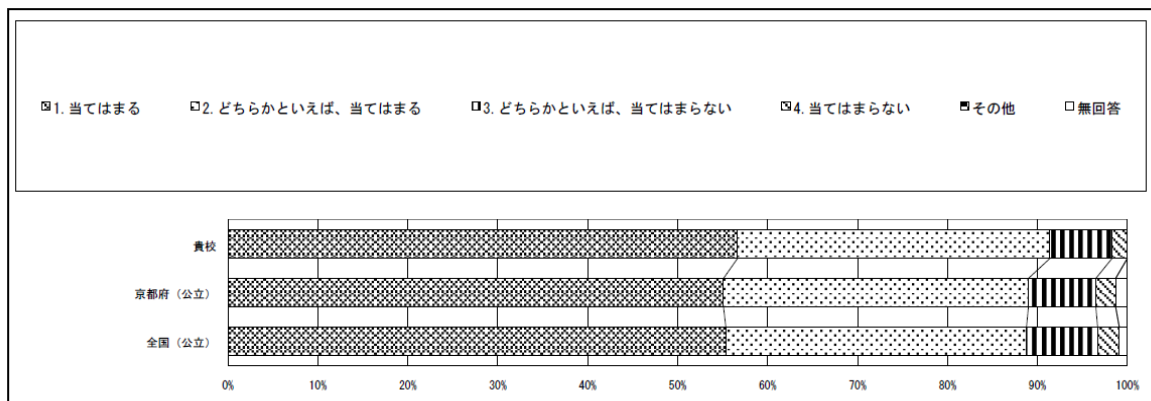
【 生徒質問紙より 】

質問番号	質問事項										
(1 1)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	72.8	24.3	0.6	2.3						0.0	0.0
京都府（公立）	70.8	23.8	3.1	1.2						0.0	1.2
全国（公立）	71.7	22.9	3.3	1.3						0.0	0.8



人の役に立つ人間になりたい割合がかなり高い

質問番号	質問事項										
(1 4)	友達関係に満足していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	56.6	34.7	6.9	1.7						0.0	0.0
京都府（公立）	55.1	33.9	7.5	2.2						0.0	1.3
全国（公立）	55.3	33.4	7.9	2.4						0.0	0.9



友達関係に満足している割合が高い

【 保護者の皆様 】

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力のすべてを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果には、ご家庭での子供に対する積極的な関りや指導・支援の成果が表れています。引き続き、子供たちの健やかな育ちと環境づくりにご協力をお願いいたします。